

## 持続・安定できる栽培に向けて 進化・適応する「ベストマッチ」

カネコ種苗(株) 肥料推進グループ



ベストマッチは皆様の作業の省力化と安定栽培に貢献しています!!

**はじめに**  
日頃、省力・安定、効率的なベストマッチをご利用いただき誠にありがとうございます。

昨今の世界情勢不安に伴い、肥料は貴重な資源とされつつあります。リン酸・加里については、輸入に依存しています。特にリン酸・加里は鉱物資源として、産出国も限られる貴重な成分です。

ベストマッチは、栽培作物に対して、無駄なく、効率的・安定的な肥効が望める肥料です。皆様への安定供給を第一に、作物用途毎に販売していた銘柄を、整理・集約させていただくことになりました。貴重な肥料を、皆様に供給し、幅広くお使いいただくことが最重要と考えております。整理・集約にあたり、これまで各地で培ってきた試験・改良などの進化・工夫の蓄積を展開し、皆様と情報を共有させていただきます。

**「葉菜 M581」(25-8-11-Mg1-B0.2)**  
葉菜用の定番として、愛顧いただきました野菜用 M086 ですが、『初期にもう少し強い肥効を…』『施用量を少しでも減らしたい…』などのご

意見も少なからずいただいております。そのご要望に添えるべく進化した「葉菜 M581」をご紹介します。

進化の過程は、年内どりのハクサイ向けに、初期から馬力のある一発肥料を弊社の技師から求められたことが始まりでした。M086 と同じ溶出期間でありながら、初期生育の肥効を3割ほど強めて設計しています。実際の圃場では、初期生育の段階で、慣行化成肥料よりも良好な生育となり、肥切れ・徒長もなく、安定した栽培ができました。一部からの「初期が少し弱め?」というベストマッチの印象を払拭した銘柄に進化しました。さらに窒素量が20%↓25%となり、施用量を25%削減でき、省力化にも繋がります。葉菜 M581 は、M086 の進化した後継銘柄として、VF サツマイモ苗用 086 の後継銘柄ともなります。

また、同じ葉菜用として、ご好評いただいている葉菜用 268 についても、初期強化型を「葉菜用 556」として、同様の進化をしています。  
**「果菜用 057」(20-5-7)**  
ベストマッチ史上最長の肥効を持つ、オール被覆タイプの銘柄です。



イチゴ ミニトマト (イエローミミ)

進化のスタートは、イチゴ栽培における土壌の P・K 過剰蓄積への対策と生育コントロール重視のハイテック銘柄の投入でした。販売当初は「イチゴ用 057」として、従来のイチゴ 001 と比較しても、施用量半分でも作柄の長いイチゴに、ほどよい効果を発揮しました。さらに用途は広がり、長期の果菜類向け(トマトの長期栽培・促成栽培やナスなど)にも使われるようになり、「果菜用 057」と名称も進化しています。元肥として、長く安定して効く銘柄として、ご好評いただいております。  
果菜用 057 の施用量は、イチゴ

用 001 と比べ 50% 削減、越冬トマト 454 と比べ 42% 削減となります。果菜類は、N・P・K のバランス重視のお声もいただきますが、P・K については、栽培圃場で過剰気味な蓄積が多く見られ、時には作物を弱らせているケースもあります。状況に応じて、適切な資材のご提案もさせていただきますので、ご安心ください。

**「野菜用 L189」(21-8-9-Mg1)**  
現在、夏秋露地ナスやオクラ栽培などでご好評をいただいている「夏秋ナス用 189」を汎用銘柄へ進化させるため、名称を「野菜用 L189」へ変更いたします。初期の肥効を少し抑え、後半の肥効持続力を強化した銘柄です。野菜用 L189 は、従来の夏秋ナス・オクラに加え、キュウリ、ピーマン、トマトなど、果菜類全般の栽培にも最適な設計となっております。同じく長い栽培期間を要するニラなどの野菜にも好適です。同じ汎用銘柄でもある野菜用 L692 よりも、さらに長く安定した L L の肥効を示します。

野菜用 L L I 89 の施用量は、果菜用 861 よりも 15% 削減できる、果菜類向けの肥効持続力を持つ進化した銘柄です。



ナス



オクラ



キュウリ

**「タマネギ用 753」(17-15-13-Mg1)**  
ご愛顧いただいております秋播きタマネギ用 664 の後継銘柄です。

### ベストマッチ



慣行区

「タマネギ用 753」は、国内の様々なタマネギの作型に対応させるべく、「秋播き」の言葉を外し、主に東北地方や九州で好評いただいております。肥料の情勢不安を考慮し、安定供給を図るため「タマネギ用 753」に統一し、更なる効率化を図ります。秋播きタマネギ用 664 と同様に、ニンニク栽培にも好適な設計です。

### 結びに

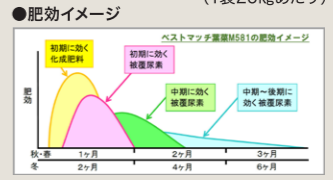
コロナ禍を始まりとする世界情勢の変動に伴う、度重なる値上げにつきましても、誠に申し訳ございません。ベストマッチは、貴重な資源である肥料を、無駄が少なく、より効率的に使えるよう進化・工夫を続けます。安定した農業への貢献を、カネコ種苗・ベストマッチは、サポートして参ります。

### ベストマッチ 葉菜 M581 25-8-11-Mg1-B0.2

作物	作型	現物/10a	窒素量/10a	施用方法
キャベツ・白菜 レタス ブロッコリー	春播き	80~100kg	20~25kg	施用量は、左記を参考に慣行の総窒素量に合わせて、地力によって調整してください。播種・定植の前に全量を全層混和で施用してください。
	夏播き	50~80kg	12.5~20kg	
	秋播き	100~120kg	25~30kg	
	冬播き	110~140kg	27.5~35kg	
ホウレンソウ・シュンギク 小松菜・カブ・大根 カボチャ・春播きニンジン	春播き	60~80kg	15~20kg	堆肥や苦土石灰などの土壌改良資材は慣行通り施用してください。
	秋播き			
パレイシヨ	春植え	50~60kg	12.5~15kg	
葉ショウガ	春植え	40~50kg	10~12.5kg	
根ショウガ	春植え	60~130kg	15~32.5kg	
ズッキーニ	春播き	80~100kg	20~25kg	
スイートコーン	春夏播き	100~120kg	25~30kg	
サツマイモ採苗	育苗	120~200kg	30~50kg	

N	窒素(化成)	1.2kg
	窒素(被覆)	3.8kg
P	リン酸(化成)	1.6kg
K	加里(化成)	2.2kg
Mg	苦土(化成)	0.2kg
B	ホウ素(化成)	0.04kg

(1袋20kgあたり)



慣行区